

大谷学報 第四十七卷 (昭和四十二年度) 総目録

第一号

歎異抄の性格……………広瀬 泉 (1)

—特に三序を中心として—

真宗教団の中世的変貌……………北西 弘 (14)

—知識と伝道の問題をめぐって—

第一次及び第二次集団理論の検討……………小笠原 真 (26)

—集団類型分類基準に関する一考察—

柳宗元における仏教受容の一齣……………河内 昭円 (46)

大脳皮質の神経細胞の培養……………日下部有信 (1)

第二号

信楽の一念について……………稲葉 秀賢 (1)

浄光寺本「親鸞聖人御消息」と「末燈抄」……………多屋 頼俊 (11)

聖徳太子とアシヨカ王の仏教……………坂東 性純 (46)

王安石に於ける方外の契……………安藤 智信 (60)

ツオンカバ造「秘密道次第論」の第一章(序説)について……………小川 一乘 (75)

第 三 号

華嚴經における文殊菩薩……………山田 亮賢 (1)

仏教説話にあらわれた寺院……………堅田 修 (13)

— 今昔物語集を中心として —

金槐和歌集試論……………仲野 良一 (25)

— 定家所伝本と貞享本についてのノート —

『御伝鈔』古写本をめぐって……………名畑 崇 (49)

存在と関わり……………古賀 武麿 (62)

— engagement の存在論的問題 —

東本願寺翻訳局目録に見える「耶蘇伝」について……………岩見 至 (1)

第 四 号

有漏業と無漏業……………舟橋 一哉 (1)

— 親鸞の罪福信に関連して —

エックハルト解釈上の一問題……………坂本 弘 (13)

— 「誕生」と「突破」との内面的連関について —

法然教学における三心について……………白井 元成 (22)

本無および如・真如の訳出について……………鍵主 良敬 (34)

心理劇によるグループ・スーパージョン……………深山 富男 (1)